

常任委員会レポート

各常任委員会は
法令に基づき
年4回各課の仕事を
調査しています。

文教厚生

日時 平成18年7月19日～20日
調査内容
・児童館、児童クラブの現地調査
・運動場の管理運営の現地調査

早急に児童館・児童クラブの耐震診断を

（子ども家庭課）
児童館・児童クラブの施設設備について耐震面と不審者対策が不安。耐震診断および補強工事、不審者対策を早急に行うこと。
運営について保護者の協力、参加をねばりよく働きかけ、運営強化を図ること。
（生涯学習課）
町が管理する並松運動場、阿武隈川運動場の草刈りに関連し、職員の見地を減らすための協働意識を醸成し、利用団体に草刈りのボランティア協力を依頼すること。
総合運動場は大規模改修が必要だが、改修を行うまでの間は、こまめに補修をし、利用者の安全確保と設備の延長化を図ること。

総務

日時 平成18年8月8日
調査内容
・可燃ごみ処理施設の現地調査
・資源ごみ不燃ごみ処理施設の現地調査
・最終処分場の現地調査
・（仮）仙南クリーンセンター建設の現地調査

焼却ごみの減量化を

（町民環境課）
大河原衛生センターにおけるごみ焼却に要する費用は、1ト当たり3万円強にもなり、そのため多くの貴重な税金が投入されている。また、本町からのごみの排出量は、ここ数年減少が続いていたが、17年度には増加に転じている。
このようなことから今後、家庭でのごみの分別や資源化をさらに徹底する必要がある。施設見学会の実施や広報紙を活用して機会あるごとに、より多くの町民に現状を訴え、焼却ごみの減量化を強力に推進すること。

建設

日時 平成18年7月20日
調査内容
・新栄通線道路改築事業の現地調査
・二本杉町営住宅建替事業の現地調査
・鷺沼排水区公共下水道事業雨水計画の現地調査

新栄通線の早期完成を

（都市建設課）
新栄通線は予定どおり竣工できるような努めること。なお、その際の街路樹植樹についてはその後の管理を考慮して植樹すること。
二本杉町営住宅建替事業は、財政状況にかんがみて事業の一部凍結や、思い切った全体計画の見直しも必要と考える。
ただし、計画区域内の要望の多い道路、集会施設については早期に整備を図ること。
（上下水道課）
鷺沼排水路について大河原町との連携協力を得ながら国・県機関に働きかけ、早期に計画策定と事業化を図ること。

産業経済

日時 平成18年7月28日
調査内容
・町有林の維持管理の現地調査
・林道二五田線の現地調査
・ため池の管理状況の現地調査

ため池の安全管理に十分留意

（地域産業振興課）
町では、農業用水確保のため町内50力所にため池を保有、管理している。
これらのため池は、堤に囲まれてはいるが、子どもが遊びにきて容易に接近できる状態にあり、またその水深は、ほとんどが1メートルを超深く、中には4メートルを超えるものもあることから、危険な箇所には立ち入り禁止の看板を設置する等の事故防止策を講じ、安全管理には十分留意すること。